



2026年7月31日

各 位

会 社 名 エア・ウォーター株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 千歳 喜弘
(コード: 4088 東証プライム・札証)
問合せ先 広報部長 福島 圭介
T E L 06-6252-3966

業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2026年2月13日に公表した2026年3月期(2025年4月1日~2026年3月31日)の通期連結業績予想と実績値に差異が生じたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 2026年3月期連結業績予想と実績の差異について

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想 (A) (2026年2月13日公表)	百万円 1,150,000	百万円 14,000	百万円 0	百万円 △10,000	円 銭 △43.63
実績 (B)	1,066,795	△37,157	△51,447	△63,949	△279.01
増減額 (B-A)	△83,204	△51,157	△51,447	△53,949	△235.38
増減率 (%)	△7.23	—	—	—	—
【ご参考】訂正後前年実績 (2025年3月期)	1,013,070	62,538	60,869	39,929	174.58

2. 差異が生じた理由

当社は、2026年2月13日付「通期業績予想の修正に関するお知らせ」において、不適切会計事案を受けた調査・点検の進捗、のれん等の減損損失、調査関連費用、事業戦略の見直しによる事業撤退等の影響および在庫評価の適正化等、当時合理的に見積もり可能な影響額を織り込み、2026年3月期通期連結業績予想を修正しておりました。

その後、決算手続きを進める過程において、売上収益については、主に純額方式への見直し等、会計基準の厳格化に伴う収益認識の修正影響に加え、事業の進捗遅れ等があり前回公表値を下回りました。また、利益面では、主に海外事業を中心に、会計基準の厳格化による、固定資産およびのれん減損損失の計上が影響しました。

これらの結果、2026年2月13日に公表した前回業績予想値に対し、売上収益、営業利益、税引前利益および親会社の所有者に帰属する当期利益がいずれも下回りました。

以 上